



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

機構ニュース

Vol.179 2018 April

今月の記事

Top News

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の 課程修了者への学位授与関係

○16人に博士の学位を授与 一大学院博士課程
相当の課程修了者一1

○平成29年度学位記伝達式を開催 一防衛医
科大学校医学教育部医学研究科を修了した者一
.....1

○1,081人に学士の学位を授与 一学部相当の
課程修了者一2

○16人に修士の学位を授与 一大学院修士課
程相当の課程修了者一3

○4人に博士の学位を授与 一大学院博士課
程相当の課程修了者一3

○卒業式典で学位記を授与3

質保証連携

国内外の質保証機関等との連携

○APQN2018年次会合に出席4

○APQNクオリティ・アワードを受賞
.....5

○『大学における情報活用ガイドブック』を国
公立大学等に提供6

○「平成29年度大学等の質保証に関する機構
職員研修（第2回）」を開催7

評価事業

大学機関別認証評価について

○平成29年度実施大学機関別認証評価の評価
結果について8

○平成29年度実施大学機関別選択評価の評価
結果について8

法科大学院認証評価について

○平成29年度実施法科大学院機関別認証評価
の評価結果について9

高等専門学校機関別認証評価について

○平成29年度実施高等専門学校機関別認証評
価の評価結果について10

○平成29年度実施選択的評価事項に係る評価
の評価結果について10

機構の窓

○会議の開催状況12

主要行事日程

○Schedule（4月～6月）14

TOP NEWS

○16 人に博士の学位を授与 ー大学院博士課程相当の課程修了者ー

平成 29 年9月に防衛医科大学校医学教育部医学研究科を修了した博士の学位授与申請者に対して、医学・薬学専門委員会において、論文審査及び口頭試問が行われました。

この審査結果に基づき、平成 30 年 2 月 15 日(木)開催の学位審査会において最終審査が行われ、16 人に対して学位を授与することを決定しました。

<博士の学位取得者数>

認 定 課 程 名	専 攻 分 野	取 得 者 数 (人)
防衛医科大学校医学教育部医学研究科	医 学	16

○平成 29 年度学位記伝達式を開催 ー防衛医科大学校医学教育部医学研究科を修了した者ー

当機構は、防衛医科大学校の大学院に相当する教育課程を修了した者のうち、当機構における審査（学位論文及び口頭試問）を受け、合格した者に対して、平成 30 年 2 月 23 日（金）、千代田区一ツ橋の当機構竹橋オフィスにおいて、学位記伝達式を開催しました。

伝達式では、各関係者列席のもと、防衛医科大学校の長谷学校長へ学位記が伝達され、福田機構長から「学位の質を保証し、国際的な通用性を担保するために、今後とも貴大学校との緊密な連携をはかりながら精進を重ねていきたい。」との挨拶により伝達式は締めくくられました。また、伝達式終了後、防衛医科大学校との懇談会が行われ、機構長、理事、研究開発部の教員との意見交換が行われました。



平成 29 年度学位記伝達式の様子

○1,081 人に学士の学位を授与　―学部相当の課程修了者―

大学の学部に対応する教育を行う課程として認定した課程の平成 30 年 3 月修了者から学士の学位授与の申請があり、学位審査会における審査の結果、1,081 人の申請者全員に学士の学位を授与しました。

＜学士の学位授与申請者数及び取得者数＞

認 定 課 程 名	専 攻 分 野	申請者数及び取得者数（人）
防衛大学校本科	理 学	36
	工 学	342
	社 会 科 学	81
	人 文 科 学	35
	計	494
防衛医科大学校医学教育部医学科	医 学	77
防衛医科大学校医学教育部看護学科	看 護 学	109
水産大学校本科	水 産 学	176
海上保安大学校本科	海 上 保 安	42
気象大学校大学部	理 学	15
国立看護大学校看護学部看護学科	看 護 学	94
職業能力開発総合大学校総合課程	生 産 技 術	74
合 計		1,081

○16 人に修士の学位を授与 一大学院修士課程相当の課程修了者一

平成 30 年 3 月に防衛大学校理工学研究科前期課程、同校総合安全保障研究科前期課程、水産大学校水産学研究科、国立看護大学校研究課程部看護学研究科前期課程を修了する見込みの修士の学位授与申請者に対して、社会科学、理学、看護学・保健衛生学・鍼灸学、工学・芸術工学、水産学の各専門委員会において、論文審査及び口頭試問が行われました。

この審査結果に基づき、3月9日（金）開催の学位審査会において最終審査が行われ、16 人に対して学位を授与することを決定しました。

< 修士の学位取得者数 >

認 定 課 程 名	専 攻 分 野	取得者数（人）
防衛大学校理工学研究科前期課程	理 学 工 学	1 2
防衛大学校総合安全保障研究科 前期課程	安 全 保 障 学	9
水産大学校水産学研究科	水 産 学	2
国立看護大学校研究課程部 看護学研究科前期課程	看 護 学	2
合 計		16

○4 人に博士の学位を授与 一大学院博士課程相当の課程修了者一

平成 30 年 3 月に防衛大学校理工学研究科後期課程を修了する見込みの博士の学位授与申請者に対して、工学・芸術工学の専門委員会において、論文審査及び口頭試問が行われました。

この審査結果に基づき、3月9日（金）開催の学位審査会において最終審査が行われ、4 人に対して学位を授与することを決定しました。

< 博士の学位取得者数 >

認 定 課 程 名	専 攻 分 野	取得者数（人）
防衛大学校理工学研究科後期課程	工 学	4
合 計		4

○卒業式典で学位記を授与

福田機構長が防衛医科大学校卒業式典（平成 30 年 3 月 3 日（土））において学位記の授与を行うとともに、防衛大学校卒業式典（平成 30 年 3 月 18 日（日））に来賓として出席されました。

質保証連携

■諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

OAPQN2018年次会合に出席

平成30年3月23日（金）から24日（土）にかけて、アジア太平洋質保証ネットワーク（APQN：Asia-Pacific Quality Network）の年次会合がインドのナグプールで開催されました。当機構は本ネットワークの正会員であり、川口顧問、竹中研究開発部教授、土屋研究開発部教授及び国際課職員が出席しました。

「次世代の高等教育の質保証に向けた能力構築」をテーマにした今年の会合では、6つの基調講演とパネルディスカッション、6つの分科会で構成され、APQNの取組である質保証機関登録簿制度（APQR：Asia Pacific Quality Register）や評価者の研修等について議論が行われました。

本会合では、高等教育の質保証分野における能力構築を目的としたプロジェクトや各国による取組状況が紹介されたほか、次世代で求められる能力の育成を目的とした教育の在り方、評価へのオンライン活用に関する発表もありました。

当機構からは、土屋教授が日本の評価制度、特に機関別評価とプログラム別評価に関する講演を行いました。また、分科会では竹中教授より、能力を基盤とした（コンピテンスベースの）学習成果をテーマに発表がありました。

さらに当機構は、日中韓三カ国の共同事業である「キャンパス・アジア」モニタリングの取組の成果が認められ、中国教育部高等教育教学評価センター（HEEC：Higher Education Evaluation Center of the Ministry of Education）と韓国大学教育協議会（KCUE：Korean Council for University Education）とともに、2018 APQN クオリティ・アワード（質保証における国際協力賞（International cooperation in QA））を受賞しました。

最終日には総会が開催され、新たな加盟機関や APQN 及び加盟国の活動状況について報告が行われました。



竹中教授の講演の様子



土屋教授の講演の様子

■国内外の質保証機関等との連携

OAPQN クオリティ・アワードを受賞

当機構は、平成 30 年 3 月に、中国教育部高等教育教学評価センター（HEEC：Higher Education Evaluation Center of the Ministry of Education）及び韓国大学教育協議会（KCUE：Korean Council for University Education）とともに、APQN クオリティ・アワード 2018 を受賞しました。この賞は、アジア太平洋質保証ネットワーク（APQN：Asia-Pacific Quality Network）が、質保証に対する卓越した貢献やアジア・太平洋地域において参考となる優れた取組を行った機関や個人に対し、その栄誉を称えて授与する賞です。

今回受賞したのは、3 部門の賞のうち、国境を越えた教育や質保証の国際的なイニシアティブにおいて、他機関との国際協力を成功裏に収めた機関に送られる「質保証における国際協力賞（International cooperation in QA）」で、平成 23 年より 5 カ年にかけて日中韓の質保証機関が連携して実施した「キャンパス・アジア」モニタリングの取組が評価され、国際的な専門家の審査を経て受賞することとなりました。インドのナグプールで開催された授賞式には、当機構より、当モニタリングの評価委員でもある竹中研究開発部教授が HEEC、KCUE の関係者とともに登壇し、APQN 会長より記念品の盾が授与されました。当機構の受賞は[平成 25 年](#)以来 2 度目となります。

「キャンパス・アジア」とは、日本、中国及び韓国の政府が共同で 3 カ国の大学間の質保証を伴う学生交流の拡大を目指す構想です。この構想の下、平成 23 年に 10 件の国際共同教育プログラムがパイロットプログラムとして採択され、当機構と HEEC、KCUE はこれらの「キャンパス・アジア」プログラムに対して、優れた事例を抽出するなどのモニタリング活動を実施したほか、[国際共同教育プログラムの質保証ガイドライン](#)等を作成し、国際会議等で発表してきました（当機構岡本理事（当時）が主査）。3 カ国の質保証機関が共同で質保証活動を行うことは世界的にも先進的な取組であり、平成 28 年から本格実施プログラムとして採択された「キャンパス・アジア」の新規プログラムに対しても、引き続き 3 質保証機関は、ガイドラインに基づき、共同でモニタリング活動を行うこととしています。



受賞式の様子



機構幹部と記念撮影

■質保証連携

○『大学における情報活用ガイドブック』を国公立大学等に提供

当機構の大学ポートレートセンターは、大学ポートレートによる教育情報の公表に加え、関連事業で収集した情報を有効に活用することも目標としています。このため、平成30年3月28日（水）、大学ポートレートに参加する国公立大学等に「大学における情報活用ガイドブックー大学ポートレート関連データの利用法ー」を提供しました。



ガイドブック（表紙）

当機構では、大学ポートレートによる教育情報の公表に当たり、一部データを転記するため国公立大学等の「大学基本情報」を大学から収集するとともに、ウェブサイトで公表しています（<http://portal.niad.ac.jp/ptrt/table.html>）。また、国立大学法人評価に使用するデータを各国立大学等から収集し、「入力データ集」及び「データ分析集」を作成して、大学ポートレートシステムと連携する大学情報分析ツールを通じて国立大学法人・大学共同利用機関法人間で共有しています。

これらにより教育研究データを大学間で共有し、各大学でのIR等で活用できる環境を整えてきましたが、情報活用の一層の促進を図るため、「機構が提供するデータで何ができるのか」、「どのように作業すればよいか」などを示した本ガイドブックを作成し、国立大学法人・大学共同利用機関法人と、大学ポートレートに参加する公立大学・公立短期大学に提供しました。

【本ガイドブックの主な内容】

- 大学が教育研究活動をデータにより分析し、改善に役立てることの効用。特に、ベンチマーキングの定義及び効用。
- 機構が各種データを収集し、大学間で共有している概況。
- 機構が提供しているデータにより作成できる指標例（国立大学は大学基本情報及び国立大学法人評価データを対象、公立大学・短期大学は大学基本情報のみを対象）。
- ベンチマーキング対象の選び方や組織単位（大学・学部・学科）の設定の考え方、組織数の決め方。
- データの整理方法、意思決定者への提供方法、見やすい図表の作り方。

■質保証人材育成

○「平成 29 年度大学等の質保証に関する機構職員研修（第 2 回）」を開催

平成 30 年 3 月 19 日（月）に平成 29 年度大学等の質保証に関する機構職員研修（第 2 回）を小平本館にて開催しました。

当研修は、先般の学校教育法の改正により、認証評価が内部質保証を重視した制度に転換したことを踏まえ、内部質保証の考え方やプログラムレビューの実施方法例を示した「教育の内部質保証に関するガイドライン」を通して、参加者が高等教育の質保証に係る知識を獲得し、理解を深めることを目的に行い、当日は、機構の様々な部署から合わせて 22 名の参加がありました。

研修前半では、「教育の内部質保証に関するガイドライン」解説動画（解説者：林研究開発部教授）の視聴に続き、竹中研究開発部教授による「大学の現場から見た内部質保証」と題した内部質保証についての基礎的な講義が行われました。研修後半では、個人ワークを行い、その内容を情報共有・意見交換する構成でグループワークを実施しました。その後、グループ内で挙げられた意見等について発表があり、最後に、発表内容を中心に会場全体で意見交換を行いました。ここでは、大学では内部質保証は重要であるがまだ浸透されておらず、大学構成員の意識をどのように変えていくか、また、内部質保証の仕組みの中に学生の声をどのように取り入れるかなど、幅広い内容について活発な意見交換が行われました。

参加者にとって今回の研修は、高等教育質保証の重要なテーマである内部質保証への理解を深めるだけでなく、内部質保証を身近に捉え、主体的に考える良いきっかけとなりました。

※グループワークは次の 5 項目を記載したワークシートを基に行いました。

- ・あなたが内部質保証で一番重要と考える部分、内容
- ・内部質保証で求められることのうち、あなたが大学側の対応が大変だと思う部分、内容
- ・プログラムレビューは必要か、実際に行うことができるか
- ・内部質保証はあなたが担当している業務とどう関わるか
- ・その他気づいたこと、確認したいこと、疑問点等



動画を視聴する参加者



講義する竹中教授



グループ発表



参加者と議論する竹中教授

評価事業

■大学機関別認証評価について

○平成 29 年度実施大学機関別認証評価の評価結果について

当機構では、平成 29 年度に実施した大学機関別認証評価の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該対象大学及びその設置者へ通知するとともに、文部科学大臣に報告しました。

今回、認証評価を実施したすべての大学が、大学設置基準をはじめ関係法令に適合し、当機構の定める大学評価基準を満たしているとの評価結果となりました。

なお、対象大学ごとの評価結果については、全体を通じての概要等を加え「[平成 29 年度大学機関別認証評価実施結果報告](#)」として当機構のウェブサイトに掲載するなど、広く社会に公表しています。

＜対象大学＞

【国立大学】

- | | | |
|------------|-------|---------|
| ・帯広畜産大学 | ・筑波大学 | ・東京学芸大学 |
| ・東京芸術大学 | ・富山大学 | ・琉球大学 |
| ・政策研究大学院大学 | | |

【公立大学】

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| ・福島県立医科大学 | ・愛知県立芸術大学 | ・京都府立医科大学 |
| ・奈良県立大学 | ・県立広島大学 | |

【私立大学】

- | | |
|----------|-------|
| ・大阪女学院大学 | ・放送大学 |
|----------|-------|

○平成 29 年度実施大学機関別選択評価の評価結果について

当機構では、平成 29 年度に実施した大学機関別選択評価の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該対象大学及びその設置者へ通知しました。

今回、選択評価を実施した大学の評価結果は、次のとおりとなりました。

＜評価結果＞

○選択評価事項B「地域貢献活動の状況」（2大学）

【公立大学】

- | | |
|---------|-------------------|
| ・奈良県立大学 | 目的の達成状況がおおむね良好である |
| ・県立広島大学 | 目的の達成状況が良好である |

※評価結果の表記について

評価結果	判断の際の考え方
目的の達成状況が極めて良好である。	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が非常に優れており、目的に照らして全体の達成状況が極めて良好であると判断される場合
目的の達成状況が良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が優れており、目的に照らして全体の達成状況が良好であると判断される場合
目的の達成状況がおおむね良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に改善すべきところはあるが、目的に照らして全体の達成状況がおおむね良好であると判断される場合
目的の達成状況が不十分である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に問題があり、目的に照らして全体の達成状況が不十分であると判断される場合

なお、対象大学ごとの評価結果については、全体を通じての概要等を加え[「平成 29 年度大学機関別選択評価実施結果報告」](#)として当機構のウェブサイトに掲載するなど、広く社会に公表しています。

■法科大学院認証評価について

○平成 29 年度実施法科大学院認証評価の評価結果について

当機構では、平成 29 年度に実施した法科大学院認証評価（本評価）の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該法科大学院を置く大学及びその設置者へ通知するとともに、文部科学大臣に報告しました。

今回、認証評価（本評価）を実施した6法科大学院のうち、5法科大学院が評価基準に適合しており、1法科大学院が適合していないとの評価結果となりました。

なお、対象法科大学院ごとの評価結果（本評価）については、全体を通じての概要等を加え[「平成 29 年度法科大学院認証評価実施結果報告」](#)として当機構のウェブサイトに掲載するなど、広く社会に公表しています。

＜対象法科大学院＞

【国立大学】

- ・北海道大学大学院法学研究科法律実務専攻
- ・一橋大学大学院法学研究科法務専攻
- ・金沢大学大学院法務研究科法務専攻
- ・熊本大学大学院法曹養成研究科法曹養成専攻 ※

【私立大学】

- ・上智大学大学院法学研究科法曹養成専攻
- ・愛知大学大学院法務研究科法務専攻

（※は、評価基準に適合していないとする評価結果になった法科大学院）

■高等専門学校機関別認証評価について

○平成 29 年度実施高等専門学校機関別認証評価の評価結果について

当機構では、平成 29 年度に実施した高等専門学校機関別認証評価の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該対象高等専門学校及びその設置者へ通知するとともに、文部科学大臣に報告しました。

今回、認証評価を実施したすべての高等専門学校が、当機構の定める高等専門学校機関別認証評価基準を満たしているとの評価結果となりました。

なお、対象高等専門学校ごとの評価結果については、全体を通じての概要等を加え「[平成 29 年度高等専門学校機関別認証評価実施結果報告](#)」として当機構のウェブサイトに掲載するなど、広く社会に公表しています。

＜対象高等専門学校＞

【国立高等専門学校】

- ・旭川工業高等専門学校
- ・広島商船高等専門学校
- ・沖縄工業高等専門学校

【公立高等専門学校】

- ・大阪府立大学工業高等専門学校

○平成 29 年度実施選択的評価事項に係る評価の評価結果について

当機構では、平成 29 年度に実施した選択的評価事項に係る評価の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該対象高等専門学校及びその設置者へ提供しました。

選択的評価事項に係る評価は、認証評価を実施した高等専門学校のうち、希望のあった高等専門学校について実施し、当該事項に関わる対象高等専門学校の有する目的の達成状況について評価しました。

＜評価結果＞

○選択的評価事項A「研究活動の状況」（4 高等専門学校）

【国立高等専門学校】

- ・旭川工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である
- ・広島商船高等専門学校 目的の達成状況が良好である
- ・沖縄工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である

【公立高等専門学校】

- ・大阪府立大学工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である

○選択的評価事項B「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」（4 高等専門学校）

【国立高等専門学校】

- ・旭川工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である
- ・広島商船高等専門学校 目的の達成状況が良好である
- ・沖縄工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である

【公立高等専門学校】

- ・大阪府立大学工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である

※評価結果の表記について

評価結果	判断の際の考え方
目的の達成状況が非常に優れている	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が非常に優れており、目的に照らして全体の達成状況が非常に優れていると判断される場合
目的の達成状況が良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が優れており、目的に照らして全体の達成状況が良好であると判断される場合
目的の達成状況がおおむね良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に改善すべきところはあるが、目的に照らして全体の達成状況がおおむね良好であると判断される場合
目的の達成状況が不十分である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に問題があり、目的に照らして全体の達成状況が不十分であると判断される場合

なお、対象高等専門学校ごとの評価結果については、全体を通じての概要等を加え[「平成29年度選択的評価事項に係る評価実施結果報告」](#)として当機構のウェブサイトに掲載するなど、広く社会に公表しています。

機構の窓

■ 会議の開催状況

○学位審査会

- ・第5回 平成30年3月9日（金） 15時00分～16時00分

議事

- 1 認定課程修了者に係る学士の学位授与の審査の結果について
- 2 認定課程修了見込者に係る修士及び博士の学位授与の審査の結果について
- 3 平成29年度特例適用専攻科における教育の実施状況等の審査の結果について
- 4 学位授与事業に関する不利益処分に係る聴聞手続規則の制定について
- 5 その他

○国立大学教育研究評価委員会

- ・第49回 平成30年3月15日（木） 10時30分～12時30分

議事

- 1 第2期中期目標期間の教育研究の状況の評価に関する検証結果報告書について
- 2 第3期中期目標期間の教育研究の状況の評価に係る評価実施要項（素案）について
- 3 学系別検討チームについて
- 4 今後のスケジュールについて
- 5 その他

○大学機関別認証評価委員会

- ・第4回 平成30年3月7日（水）

議事

- 1 評価結果について
- 2 専門委員の選考について（平成30年度実施分）
- 3 大学機関別認証評価に係る3巡目の評価方法等について
- 4 その他

○高等専門学校機関別認証評価委員会

- ・第3回 平成30年3月1日（木）～平成30年3月14日（水）

※書面審議により開催

議事

- 1 平成29年度高等専門学校機関別認証評価に係る評価結果について
- 2 平成30年度高等専門学校機関別認証評価に係る専門委員の選考について
- 3 その他

○法科大学院認証評価委員会

- ・第3回 平成30年3月12日（月）

議事

- 1 評価結果について
- 2 「教育課程、教員組織その他法科大学院の教育活動全般に係る重要な変更又は状況の変化」及び「対応状況報告書」の調査結果に対する評価結果への付記事項（案）に対する意見について
- 3 重点基準を満たさないおそれがある事項（案）に対する意見について
- 4 専門委員の選考について
- 5 法科大学院評価基準要綱の改定について
- 6 その他

主要行事日程

○ Schedule

4月

日	行事名	担当課
1日～7日	平成30年度4月期学位授与郵送申請受付期間	学位審査課

5月

日	行事名	担当課
17日	学位審査会（平成30年度第1回）	学位審査課

6月

日	行事名	担当課
10日	学位授与試験（東京・大阪）	学位審査課